

分別することでのメリット

- ▼資源として再利用できるものは有効利用（リサイクル）できます。
捨てればごみ、分ければ資源
- ▼焼却炉に余分な負担をかけないようにできます。
焼却量が減り、炉を長持ちさせることができます。
- ▼最終処分場（埋立施設）を長く使うことができます。
埋立施設には限りがあり、いっぱいになると新しい施設を作らなければならず、多額の税金が必要となります。
- ▼地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制することができます。
焼却するごみの量を減らすことで、温室効果ガスの排出を減らすことができます。

ごみを減らすために「5R」「ぐんま3きり運動」を推進しています

Reduce リデュース：発生抑制
○ごみの発生を抑制することです。



Reuse リユース：再利用
○物を捨てずに繰り返し使うことです。

Recycle リサイクル：再生利用
○一度ごみになったものを資源として形を変えて別のものにすることです。



Refuse リフューズ：断る
○ごみとなるものを買わない、もらわないことです。



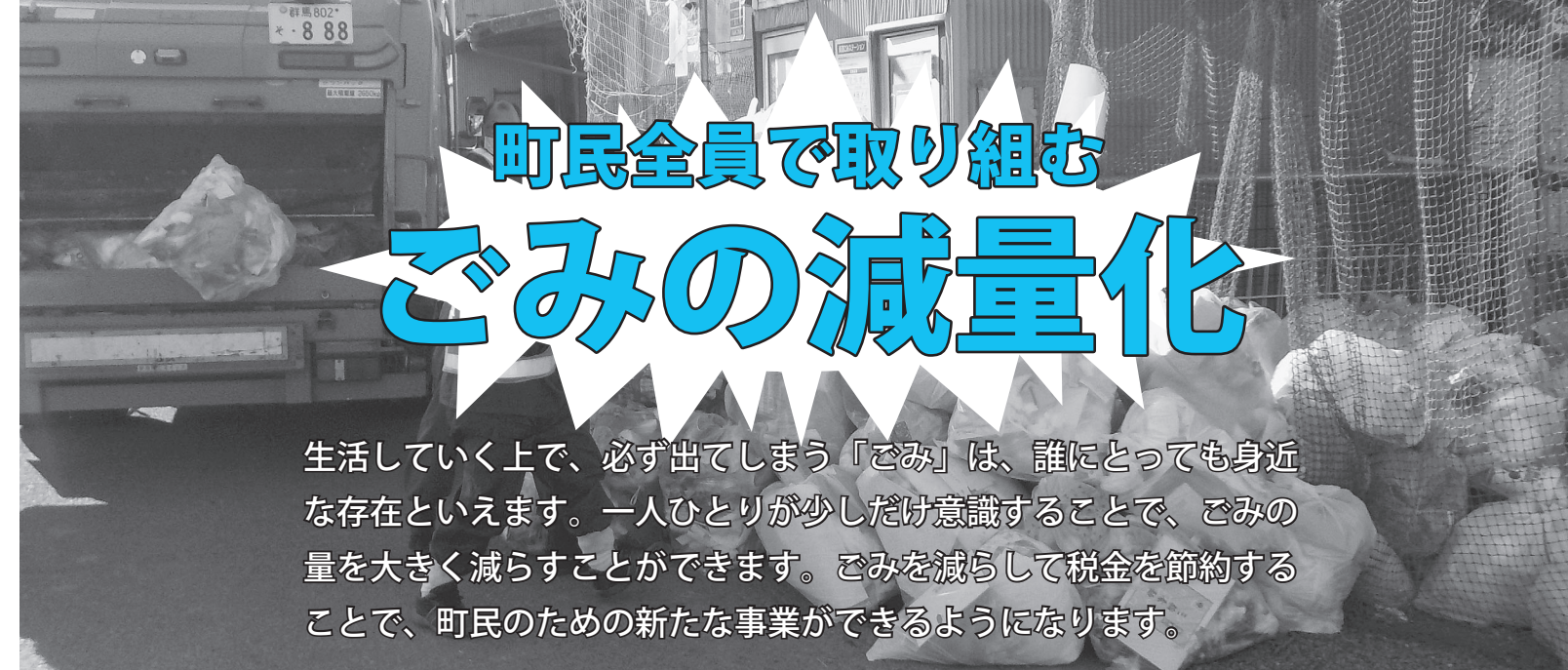
Repair リペア：修理する
○壊れたものを直してまた使うことです。

ぐんまちゃんの3きり運動

- 使いきり 使いきれぬ量の食材を買うことで、期限切れで処分する食料を減らす。
- 食べきり 食べきれぬ量の料理を作ったり、買ったりすることで、残して処分してしまう食品の量を減らす。
- 水きり 三角コーナーでよく水を切ったり、生ごみ処理機などを使用して、生ごみを軽くする。

町では資源ごみ集団回収助成事業を行っています。これらも活用して、ごみの減量に取り組んでいきましょう。

問合せ 環境下水道係 ☎82-6132

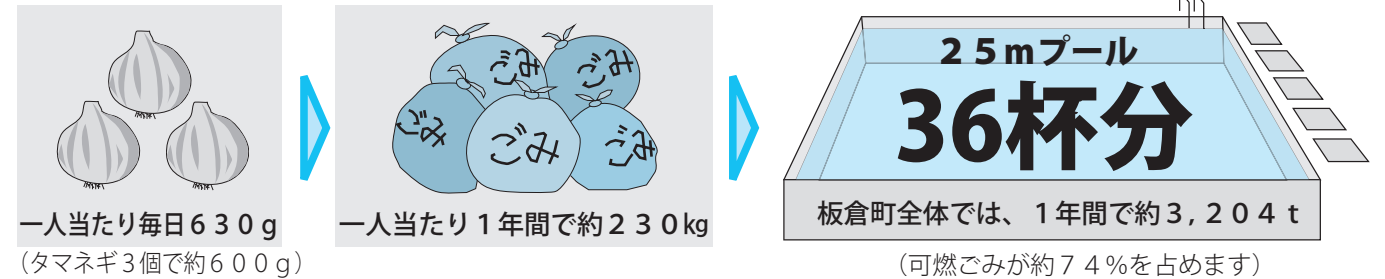


生活していく上で、必ず出てしまう「ごみ」は、誰にとっても身近な存在といえます。一人ひとりが少しだけ意識することで、ごみの量を大きく減らすことができます。ごみを減らして税金を節約することで、町民のための新たな事業ができるようになります。

板倉町のごみの現状

板倉町では、一人当たり、毎日約630gのごみが出されています。これはおよそタマネギ3個分の重さに相当します。これが年間では約230kg。板倉町全体では、1年間で3,204t、25mプール36杯分ものごみの量となります。

<イメージ>



500tのごみ処理費用は約2,000万円

500tのごみが減ることで、ごみ処理費用が削減され、道路建設や福祉、学校の維持管理などに使うことができます。

一人ひとりがごみに対する意識を変え、皆さんの力で住みよい町、暮らしやすい町、豊かな町にしていきましょう！